

石神井川の臭気対策・環境改善に取り組んでいます

北区を流れる石神井川は、自然環境資源として区内の水と緑のネットワークを形成する重要な河川です。北区では、石神井川が都市の豊かさや潤いを生む貴重な水辺空間となるよう、河川の環境改善に取り組んでいます。

1 石神井川とは？

石神井川は、小平市内にその源を発し、西東京市を経て、練馬区・板橋区・北区を流下し、北区内で隅田川と合流しています。流域面積は 61.6 平方キロメートル、総延長は 25.2km の一級河川であり、都内の中小河川としては比較的大きな規模の河川です。

下流部（王子駅付近～隅田川合流地点）においては、潮の満ち引きの影響を受ける感潮河川となっています。

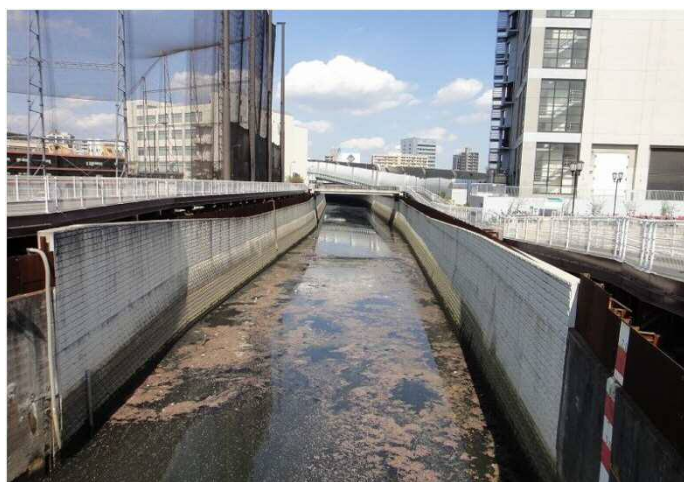


2 北区内の石神井川の現状

石神井川は、小平市・西東京市・練馬区・板橋区での湧水や田柄川との合流を主な水源としていますが、大雨の際には、汚水混じりの雨水や道路上の排水が流入します。

下流部の感潮域では、水の流れが滞るため流入した有機物が川底に留まり、水質悪化やスカムの発生に伴う悪臭の原因となっています。

※スカムとは、川床に堆積した汚濁物質が、有機物の分解などによって発生する硫化水素やメタンガスの浮力によって水面上に浮上したものをいう。



スカムの発生状況（王子駅付近）

3 臭気対策など環境改善に向けた主な取り組み

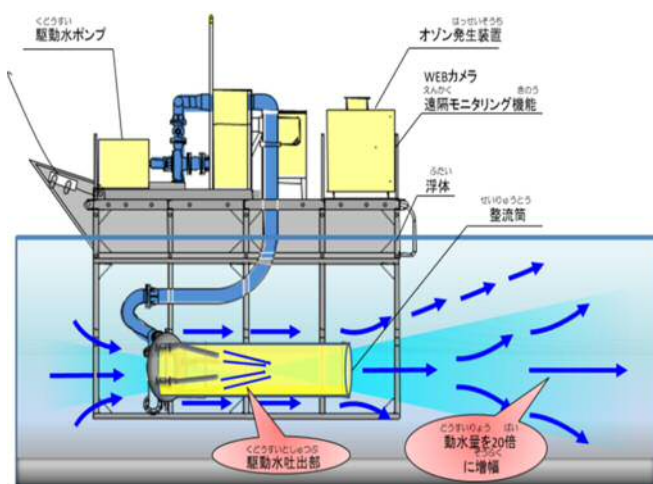
北区では、石神井川の環境改善に向けて様々な取り組みを行っています。

北区の主な取り組み

(1) 石神井川の水質改善装置

① 水流発生装置

水流発生装置は、人工的に水の流れを発生させて、底層の貧酸素状態の解消や汚濁物質の堆積を防ぎ、スカムの発生を抑制することを目的としております。本装置は平成 24 年度より雨量の少ない渇水期に稼働しておりましたが、雨量の多い出水期も運転できるように整備し、平成 29 年度から通年稼働をしております。



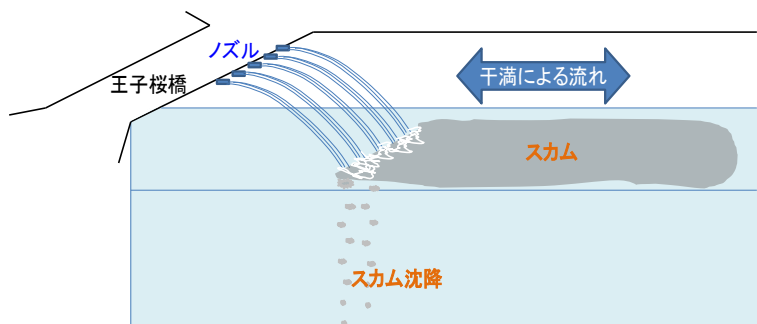
水流発生装置概略図



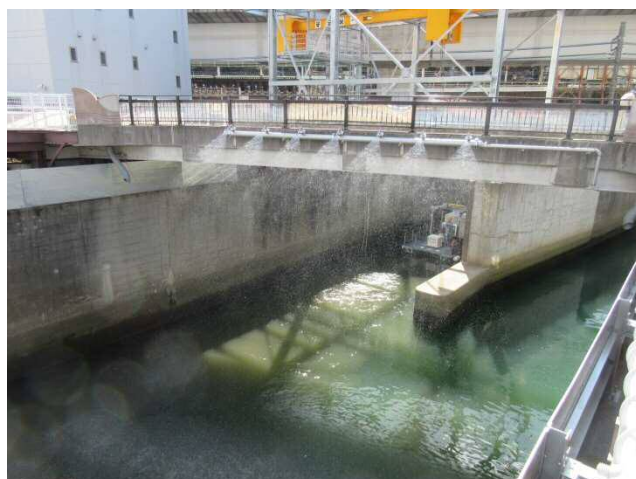
装置稼働状況(王子桜橋上流右岸側)

② 散水設備

王子桜橋から散水によるスカムの打ち落としを行うとともに、良質な水を石神井川に供給しております。散水している水は、東京メトロ南北線王子駅構内に流入している地下湧水です。本設備は平成 29 年度末から運転しております。



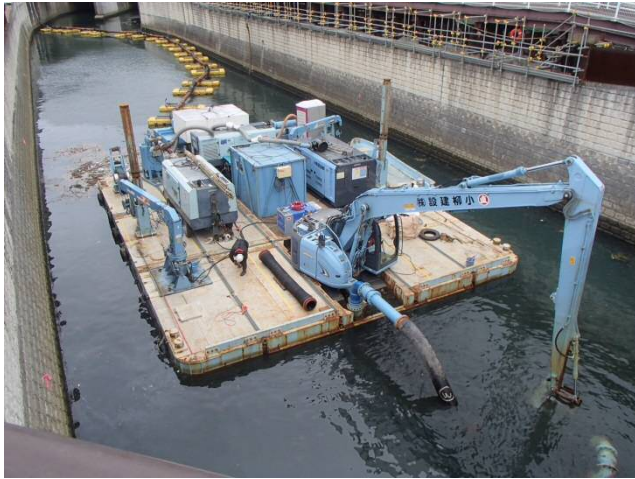
ノズル散水によるスカム沈降のイメージ



散水状況(王子桜橋下流)

(2) 石神井川の河床しゅんせつ工事

石神井川の河床に堆積した有機物を含む土砂の撤去や、川床の凸凹をなくし、汚濁物質の堆積しにくい河床形状にするための工事です。溝田橋から王子桜橋の間で、雨量の少ない渇水期に実施しております。



堆積土を引き上げる状況



回収した堆積土

(3) スカム対策作業

石神井川では、水面上に発生した汚濁物質（スカムなど）の浮遊物を回収や放水による沈降作業を適宜実施しております。



高圧放水による浮遊物の沈降作業の状況

お問い合わせ

北区 土木部 道路公園課 公園河川係

電話：03-3908-9275

FAX：03-3908-1291